

9月定例会

豊川市議会第3回定例会（9月定例会）は、8月25日から9月21日までの28日間にわたって開かれました。9月定例会では、市長から平成16年度一般会計補正予算を始めとする11議案が提出されたほか認定14件、報告3件、同意1件が提出されました。また、議員発議の議員派遣が1件提出されました。

九月定例会で審議した案件は、次ページにある一覧表のとおりです。○の中の数字は議案番号です。その主な内容をご紹介します。

議案の内容

■補正予算

⑩ 一般会計補正予算（第三号）は、歳入歳出に四億三千五百六十三万四千円を追加し、予算総額を三百九十三億四千五百四十六万八千円とするものです。主な内訳は、万博関連事業費、キーパーティノ市への特別旅費等、国際交流協会補助金として二百九万五千円、前年度の繰越金の確定に伴う財政調整基金積立金として四億一千万円、三河国分尼寺跡整備及び三明寺本堂保存修理事業として四百十五万三千円を追加するなどのものです。

■決算の認定

認定①から認定⑭までの十四議案は平成十五年年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算認定について承認を求められたものです。（概要は下表のとおり）

■条例の一部改正

平成15年度各会計決算の状況

一 般 会 計					
歳 入			歳 出		
項 目 別	収入済額(万円)	割合(%)	項 目 別	支出済額(万円)	割合(%)
市 税	158億4,426.3	44.3	総 務 費	43億3,963.2	12.4
地方消費税交付金	11億4,834.8	3.2	民 生 費	85億6,892.8	24.5
地方交付税	30億7,142.3	8.6	衛 生 費	32億5,946.9	9.3
分担金及び負担金	11億6,855.9	3.2	商 工 費	10億1,339.5	2.9
国庫支出金	32億8,175.5	9.2	土 木 費	64億7,959.6	18.6
県 支 出 金	15億5,882.1	4.4	消 防 費	17億1,845.3	4.9
繰 越 金	4億9,787.1	1.4	教 育 費	36億4,073.5	10.4
諸 収 入	13億4,878.5	3.8	公 債 費	36億6,001.5	10.5
市 債	50億7,691.0	14.2	諸 支 出 金	12億4,432.8	3.6
そ の 他	27億5,947.1	7.7	そ の 他	10億 474.5	2.9
合 計	357億5,620.6	100.0	合 計	349億2,929.6	100.0
特 別 会 計					
会 計 名	予算額(万円)	収入済額(万円)	支出済額(万円)		
豊川西部地区画整理	12億 806.7	12億5,740.5	11億7,480.5		
豊川駅東地区画整理	11億6,930.0	11億7,144.5	11億2,028.0		
公共下水道	37億9,267.0	38億5,159.8	37億 419.6		
農業集落排水	5,040.0	6,088.0	4,421.3		
公共駐車場	5,690.0	6,163.0	5,489.4		
国民健康保険	87億8,246.5	90億7,569.3	87億4,531.1		
老人保健	85億6,275.3	85億6,535.1	85億5,631.3		
介護保険	37億 258.1	35億7,464.9	34億9,617.8		
在宅介護支援	1億8,335.1	1億8,007.9	1億7,324.4		
交通災害共済	4,170.0	4,841.4	3,834.4		
土地取得	2億6,806.7	2億6,733.5	2億5,794.9		
企 業 会 計					
会 計 名	区 分	収入済額(万円)	支出済額(万円)		
水 道 事 業	収 益 的	23億8,321.9	22億5,117.0		
	収 益 的	4億9,027.5	10億4,655.3		
病 院 事 業	収 益 的	91億7,010.9	92億7,490.5		
	収 益 的	5億2,622.1	10億7,624.8		

■契約案件

⑨ 八幡住宅B棟整備工事のうち建築工事請負契約の締結は、十五年度に取得した用地に新たに市営住宅一棟を建設するもので、構造は鉄筋コンクリート造四階建、一棟二十戸（三DK十戸、二DK五戸）、延床面積千九百三十一・六四平方メートルを設けるものです。

■報告案件

報告⑩ 豊川市開発ビル株式会社の経営状況は、今年度家賃の一部や共益費が税込みであるため、単純に前年度と比較はできないが、営業利益は前年度を上回っているとの報告がありました。

⑧ 睦美、千両、穂ノ原の市営住宅内に設置されている広場をちびっ子広場として位置づけ、広場・施設の維持管理の効率化を図るものです。

⑦ 水槽付消防ポンプ自動車の取得は、本署、西分署、一宮出張所の車両を更新するもので、資機材の収納場所の拡張や搭載はしごの昇降の油圧自動化など、利便性、省力化等に配慮した車両三台を購入するものです。

決算特別委員会

* 認定① *

【質疑】三月定例会で施政方針の一端と予算大綱を示し、総合計画に基づき各種施策を展開してきたが、十五年度の施政全般についての認識は。

【答弁】市制施行六十周年の年であり、「第十三回全国童謡・唱歌サミット・イン・とよかわ」を始めとする記念事業の開催で市民のみならず全国からの参加者の交流の場となり、市のPRに役立った。また、特に総合計画に基づく次代を担う施策としての子育て支援、防災対策、健全な行財政運営に著実な成果を上げたものと認識している。広域行政への取り組みとして、合併は不調となったが、この地域のステップアップのため努力が必要と考える。

【質疑】さくらぎ・うしくぼ児童館では多くの利用者があるが、その利用形態は。

【答弁】主な利用形態としては、午前中が保育園等の入園前の乳幼児と母親、午後は学校終了後の小学生の利用が多い。また、土日には「絵本の読み聞かせ」などのイベントを開催している。

【質疑】災害用備蓄品の充足率と目標達成年度は。

【答弁】乾パン等の食料・箸・コップなどはほぼ百割、ろ水機五十四・五割、懐中電灯三十三・三割、避難所用仕切りボード三十六・四割などである。十八年度までに百割の充足率を目指すことを目標としている。

* 認定② *

【質疑】豊川西部土地区画整理事業の保留地予定地処分予約金について、平均単価は計画時と比較してどうか。

【答弁】計画では坪当たり四十四万四千円だが、十五年度一般入札で行った平均単価は、坪当たり二十九万四千円であった。

* 認定⑤ *

【質疑】正岡・千両地区で施設が造られたが、接続率が正岡で九十一・七割、千両で七十五・一五割と千両では低いようであるが、この原因は。

【答弁】千両地区においては、供用開始から三年が経過するまでに九十割と設定しているためであり、今後とも啓発に努める。

* 認定⑦ *

【質疑】国保料の納付方法でも、コンビニでの収納業務の委託が可能のようであるが、どのように考えているのか。

【答弁】法令等の改正により可能であるが、金融機関で納付し

ていたものが流れる可能性と確実な口座振替の推進が重要であることから、今後税の担当課とも相談をしながら検討していく。

討論

* 認定① *

【反対】十五年度決算においては、財政状況の悪化にもかかわらず、区画整理事業を中心に建設事業費の過大が財政圧迫の最大原因である。また、際立った民間活用推進への動き、経済的支援が望まれている子育て支援では、市民の意向から逆行していると言わざるを得ず反対する。

【賛成】十五年度決算は、総合計画の基本姿勢に沿った成果が上がっており、「まちづくりは人づくり」を政策の柱として、市民との連携・協働、歩いて楽しく、災害に強く、健康で安心、快適な市民生活、活力に満ちた地域社会の実現などそれぞれのまちづくりが推進されていると評価し賛成する。

* 認定② *

【反対】この事業における保留地予定地処分予約金では、計画段階よりも大幅に下がっている。また、期間延長も念頭において計画の見直しを言及しており、今の財政事情から過大な事業と言わざるを得ず反対する。

【賛成】七年度に事業着手され、順次工事が進められている。この中で、一部整備された場所では、十五年度末までに百三十棟の住宅が新築され、新たなまちの姿になりつつある。このことは、当事業の目的である「住宅地としてふさわしい良好な環境の市街地形成」の大きな成果と認め賛成する。

* 認定⑦ *

【反対】国民健康保険料を所得水準に見合うよう、市独自の減免制度を充実させてきたが、十五年度も減免制度の縮小が行われ、市民の負担が増大していることから、新たな減免制度の充実が必要と考え反対する。

* 認定⑦ *

【賛成】国民健康保険の被保険者すべてが納得する保険料の設定は困難であるが、国民健康保険制度の基本となる相互扶助の考えに基づき、低所得者に配慮する中で負担公平の観点から応分の負担をしてもらう必要があることから、市独自の減免制度の見直しは妥当であると判断し賛成する。

決算特別委員会

認定①

【質疑】三月定例会で施政方針の一端と予算大綱を示し、総合計画に基づき各種施策を展開してきたが、十五年度の施政全般についての認識は。

【答弁】市制施行六十周年の年であり、「第十三回全国童謡・唱歌サミット・イン・とよかわ」を始めとする記念事業の開催で市民のみならず全国からの参加者の交流の場となり、市のPRに役立った。また、特に総合計画に基づく次代を担う施策としての子育て支援、防災対策、健全な行財政運営に著実な成果を上げたものと認識している。広域行政への取り組みとして、合併は不調となったが、この地域のステップアップのため努力が必要と考える。

【質疑】さくらぎ・うしくぼ児童館では多くの利用者があるが、その利用形態は。

【答弁】主な利用形態としては、午前中が保育園等の入園前の乳幼児と母親、午後は学校終了後の小学生の利用が多い。また、土日には「絵本の読み聞かせ」などのイベントを開催している。

【質疑】災害用備蓄品の充足率と目標達成年度は。

【答弁】乾パン等の食料・箸・コップなどはほぼ百割、ろ水機五十四・五割、懐中電灯三千三・三割、避難所用仕切りボード三十六・四割などである。十八年度までに百割の充足率を目指すことを目標としている。

認定②

【質疑】豊川西部土地区画整理事業の保留地予定地処分予約金について、平均単価は計画時と比較してどうか。

【答弁】計画では坪当たり四十四万四千円だが、十五年度一般入札で行った平均単価は、坪当たり二十九万四千円であった。

認定⑤

【質疑】正岡・千両地区で施設が造られたが、接続率が正岡で九十一・七割、千両で七十五・一五割と千両では低いようであるが、この原因は。

【答弁】千両地区においては、供用開始から三年が経過するまでに九十割と設定しているためであり、今後とも啓発に努める。

認定⑦

【質疑】国保料の納付方法でも、コンビニでの収納業務の委託が可能のようであるが、どのように考えているのか。

【答弁】法令等の改正により可能であるが、金融機関で納付し

ていたものが流れる可能性と確実な口座振替の推進が重要であることから、今後税の担当課とも相談をしながら検討していく。

討論

認定①

【反対】十五年度決算においては、財政状況の悪化にもかかわらず、区画整理事業を中心に建設事業費の過大が財政圧迫の最大原因である。また、際立った民間活用推進への動き、経済的支援が望まれている子育て支援では、市民の意向から逆行していると言わざるを得ず反対する。

【賛成】十五年度決算は、総合計画の基本姿勢に沿った成果が上がっており、「まちづくりは人づくり」を政策の柱として、市民との連携・協働、歩いて楽しく、災害に強く、健康で安心、快適な市民生活、活力に満ちた地域社会の実現などそれぞれのまちづくりが推進されていると評価し賛成する。

認定②

【反対】この事業における保留地予定地処分予約金では、計画段階よりも大幅に下がっている。また、期間延長も念頭においた計画の見直しを言及しており、今の財政事情から過大な事業と言わざるを得ず反対する。

【賛成】七年度に事業着手され、順次工事が進められている。この中で、一部整備された場所では、十五年度末までに百三十棟の住宅が新築され、新たなまちの姿になりつつある。このことは、当事業の目的である「住宅地としてふさわしい良好な環境の市街地形成」の大きな成果と認め賛成する。

認定⑦

【反対】国民健康保険料を所得水準に見合うよう、市独自の減免制度を充実させてきたが、十五年度も減免制度の縮小が行われ、市民の負担が増大していることから、新たな減免制度の充実が必要と考え反対する。

【賛成】国民健康保険の被保険者すべてが納得する保険料の設定は困難であるが、国民健康保険制度の基本となる相互扶助の考えに基づき、低所得者に配慮する中で負担公平の観点から自分の負担をしてもらう必要があることから、市独自の減免制度の見直しは妥当であると判断し賛成する。